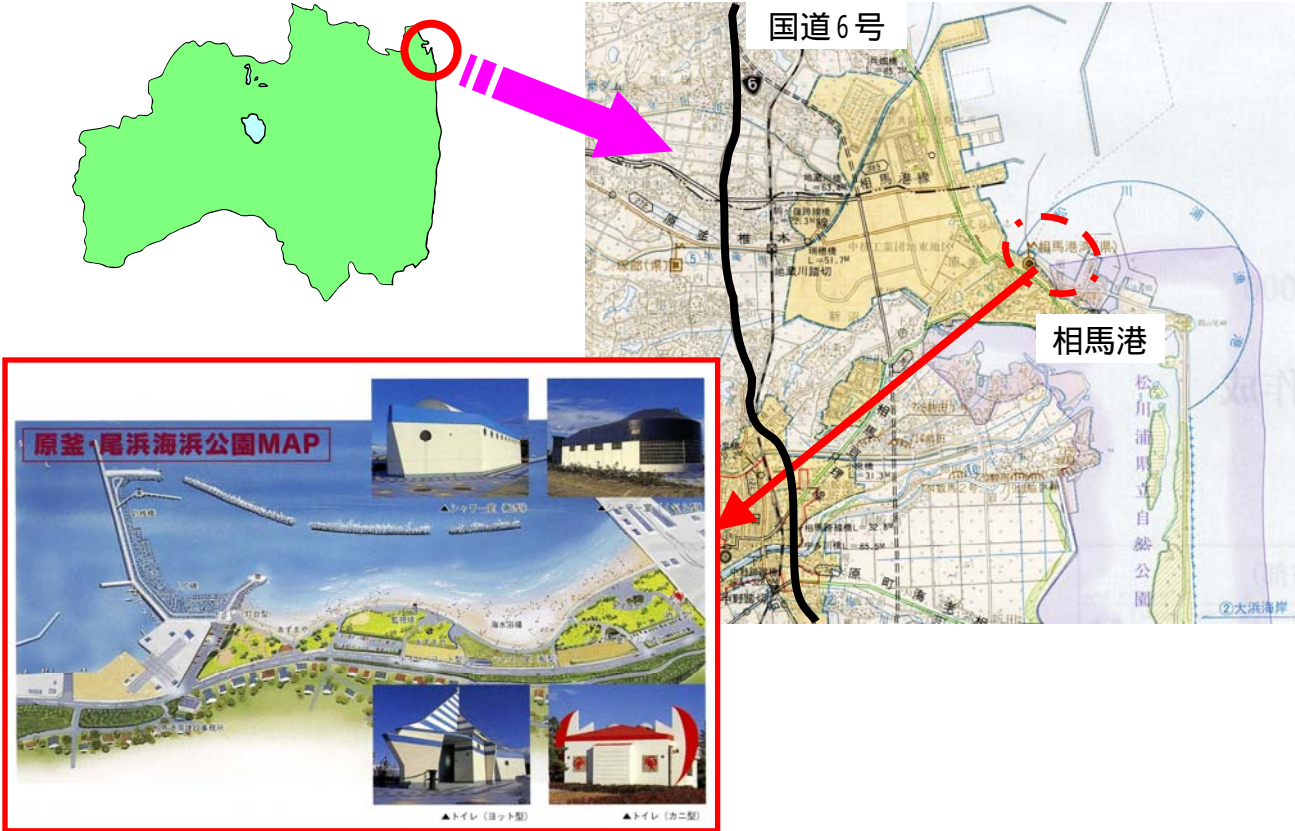


## 観光社会資本の事例

テーマ	住民の憩い場となっている「原釜・尾浜海浜公園」
【施設の状況写真】	
	<p data-bbox="927 412 1315 461">親水施設(釣り桟橋)</p> 
<p data-bbox="197 880 1362 965">原釜・尾浜海浜公園は、景勝地に隣接し、便利施設や親水施設も充実しており、手軽にマリナーレジャーを満喫できる公園です。</p>	
【施設の利用写真】	
	
<p data-bbox="296 1525 716 1563">原釜・尾浜海浜公園の利用状況</p>	<p data-bbox="943 1525 1235 1563">人工磯の利用状況</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p data-bbox="150 1630 1441 1832">相馬市から相馬郡新地町にまたがる重要港湾相馬港の南端部に位置する原釜・尾浜海浜公園は、松川浦県立自然公園や日本の渚百選にも選定されている「大洲海岸」などの景勝地に隣接しており、緑地・トイレなどの便利施設や釣り桟橋・突堤などの親水施設が整備された手軽に水遊びが楽しめる場所です。特に、海上部分に張出した突堤は東屋やテーブルなども設置されており、釣りや休憩時の憩いの場として好評を得ています。</p>	
<p data-bbox="150 1832 1441 1989">また、公園内の「人工磯」は、砂浜が続く海岸線の中において安全で手軽に磯遊びが楽しめる場所です。当地区は、建設から10年以上が経過しましたが、海洋生物に対する影響を考慮し、天然石を利用した施工を行ったため、現在は、藻やウニ、カニなどが生息する天然の磯場と同様の形態を呈しております。子どもたちの磯遊びや野外学習などに利用されています。</p>	
<p data-bbox="150 1989 1441 2065">平成16年の観光入り込みは、約8万人に上り、そのうち約4割の方々が県外から訪れるなど、地域内外の多くの方々に利用されています。</p>	

テーマ	住民の憩い場となっている「原釜・尾浜海浜公園」
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 原釜・尾浜海浜公園</p> <p>所在地 福島県相馬市原釜地先</p> <p>事業名 海岸環境整備事業</p> <p>事業主体 福島県</p> <p>事業期間 昭和49年～平成7年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>緩やかな海岸線が続く当地区では、その地形を生かし古くから多くの産業が栄えてきましたが、海岸線背後に民家が密集していたため、台風などの波浪発生時には人命や財産が常に危険な状態にさらされていました。そのため、波浪の軽減機能を有する階段式の護岸などの整備を図り、住民の生命や財産を保全すると共に、緑地やトイレなど利便性を高める施設の整備も合わせて行い、潤いのある海岸環境を創出し、安全で憩いのある場を提供しています。</p> <p>また、本地区は、港湾海岸と漁港海岸が隣接している地区であるため、両管理者連携による事業展開を図りました。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 相馬港湾建設事務所 <a href="http://www.pref.fukushima.jp/soumakouwan/">http://www.pref.fukushima.jp/soumakouwan/</a> 相馬市観光協会 <a href="http://www.somacci.com/kankou/www.ccia.or.jp/">http://www.somacci.com/kankou/www.ccia.or.jp/</a></p>	